

【東京都奥多摩町】奥多摩湖にスマホをかざすとダム建設により失われた村が蘇るARアプリ「小河内タイムレンズ」 2月27日にリリース



69年前に湖底に眠った小河内村の風景と歴史をWEBアプリでアーカイブ化し、観光客増加や社会科学習を手助け。

川野車人形保存会（代表：河村良知）は2025年の奥多摩町町制施行70周年記念事業として、WebARアプリ「小河内タイムレンズ」を2月27日（金）にリリースいたします。小河内貯水池（以下：小河内ダム）の建設によって奥多摩湖の底に沈んだ小河内村の景色をAR技術で可視化し、過去の資料や写真、逸話などをアプリ内で閲覧可能にしました。利用料金は無料、ダウンロード不要で、スマホなどの端末とインターネット環境があれば誰でもどこでも起動できるWebアプリです（3Dモードは奥多摩湖周辺でのみ利用可能）。



■ スマホでタイムトラベル

「小河内タイムレンズ」は、スマートフォンのGPSやコンパス機能を活用し、現在の奥多摩湖の風景にかつての小河内村の姿を重ね合わせて表示するWebARアプリです。

1957年の小河内ダム完成によって湖底に沈んだ村の記憶を、AR（拡張現実）技術によって現代に蘇らせます。現地で湖面にスマホをかざすと当時の風景が目の前に広がり、まるで過去へタイムトラベルしたかのような体験を提供します。

また、散逸の恐れがある貴重な写真や住民の証言、伝統芸能などをデジタルアーカイブ化し、地域の歴史を未来へつなぐことを目指しています。

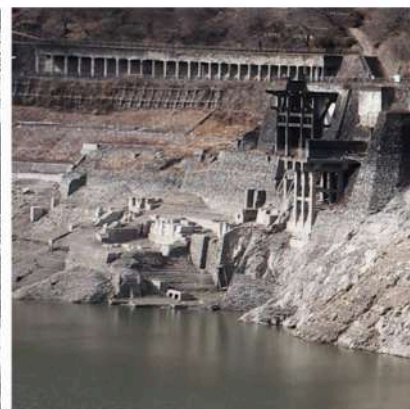
■ 伝統芸能の映像や、民話の収録などの多数のコンテンツ

- ・現在の奥多摩湖周辺の地図と旧小河内村の地図を重ね合わせたもの
- ・特集スポット約100箇所
- ・旧小河内村の写真資料
- ・当時を知る地元住民へのインタビュー
- ・小河内地域に伝わる民話（撮り下ろし音声）



■ 奇しくも開発中に起こった記録的渇水

本アプリの開発を進めていた最中、「30年に一度」と言われる深刻な雨不足により、小河内ダム貯水率が40%を割り込み、平成以降の最低値を下回る事態となりました。この歴史的な水位低下により、湖底から69年前に沈んだかつての「幻の村」の一部が姿を現しました。ダム建設時に稼働していた碎石場の足場などの遺構が目視できる状態となり、はかrazもアプリが目指す「失われた村の可視化」が現実の風景として出現しまし



た。アプリ開発と並行して起きたこの出来事は、水没した故郷や歴史への関心をさらに高める契機となりました。

■ 開発チームより

「奥多摩川野車人形保存会」が母体となり、アプリ開発のために70周年記念事業部を結成し、ほぼ町内住民でチームを組んで本アプリを開発しました。「奥多摩川野車人形保存会」とは、小河内地域に伝わる国指定重要無形民俗文化財「川野車人形」を未来に繋ぐために活動している団体です。

アプリ開発の中心となったメンバーは、地元出身者はもちろん、家族や単身で移住してきた者まで老若男女さまざま。開発にあたって奥多摩町にこうした新たな縁が生まれ、次の世代に残せるものを製作できたことは大きな喜びでした。ふるさとを大切に思う町民の皆様や、奥多摩湖を訪れた観光客の方々に使っただき、タイムトラベルのような体験を楽しむことで地域の歴史や文化に関心を寄せていただきたいと思います。

【アプリ概要】

名称：小河内タイムレンズ

公開時期：2026年2月27日（金）

料金：無料

場所：どこでも（3Dモードは奥多摩湖周辺でのみ利用可能）

アプリURL：<https://code-for-okutama.github.io/ogouchi-time-lens/>

公式HP：<https://code-for-okutama.github.io/ogouchi-time-lens-web/>



アプリ

【お問い合わせ】

川野車人形保存会 70周年記念事業部 担当：濱田隆史

電話：090-8486-5586 / Email：hamada@gift10.co.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/kawanokurumaninngyouhonzonkai>

X：<https://x.com/kawanokuruma>

Instagram：<https://www.instagram.com/kawanokuruma/>



公式HP